

# 《 調 査 結 果 の 概 要 》

## I 集落としての機能（コミュニティ）を持っている農業集落数

集落機能<sup>(注)</sup>がある農業集落数は13万4千集落で、5年前に比べて669集落(0.5%)増加した。

この結果、調査対象農業集落数に占める集落機能がある農業集落数の割合は97.2%となった。

注： 集落機能とは、農地や山林等の地域資源の維持・管理機能、収穫期の共同作業等農業生産面での相互補完機能、冠婚葬祭等の地域住民同士が相互に扶助しあいながら生活の維持・向上を図る機能などをいう。

表1 集落機能のある農業集落数（全国）

単位:100集落

区 分	計	集落機能がある	集落機能がない
平成22年	1,392	1,337	55
27	1,383	1,343	39
構成割合(%)			
平成22年	100.0	96.0	4.0
27	100.0	97.2	2.8

## II 寄り合いの開催状況

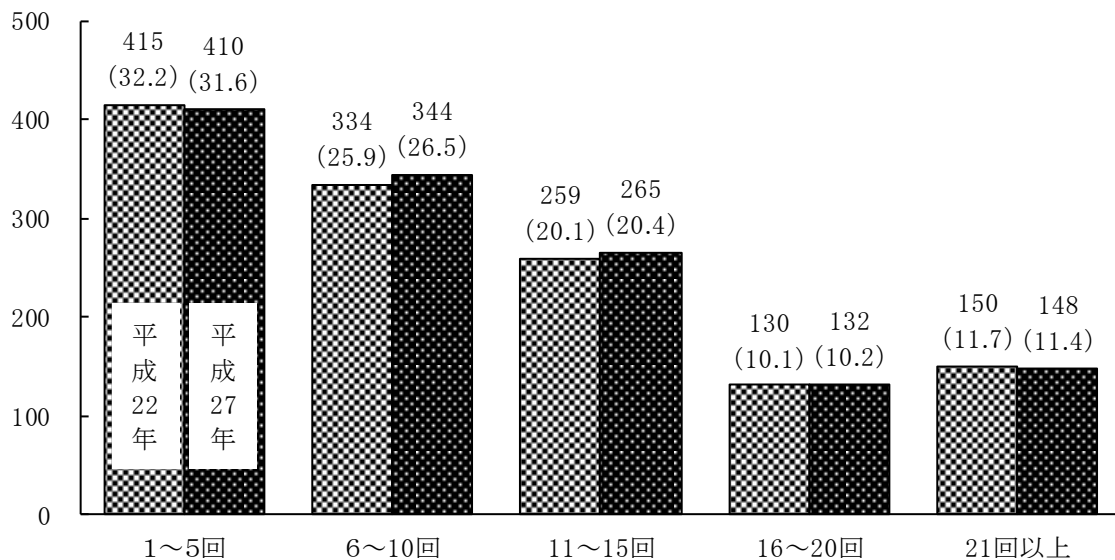
過去1年間に寄り合いを開催している農業集落数は13万集落（調査対象農業集落数に占める割合93.9%）となった。

寄り合いを開催した農業集落の回数規模別に割合をみると、1～5回の層が最も多く31.6%、次いで6～10回の層が26.5%、11～15回の層が20.4%、21回以上の層が11.4%、16～20回の層が10.2%となった。

この結果、5年前に比べて、6～10回、11～15回、16～20回の各層で増加となっている。

図1 寄り合いの開催回数規模別農業集落数（全国）

(100集落)

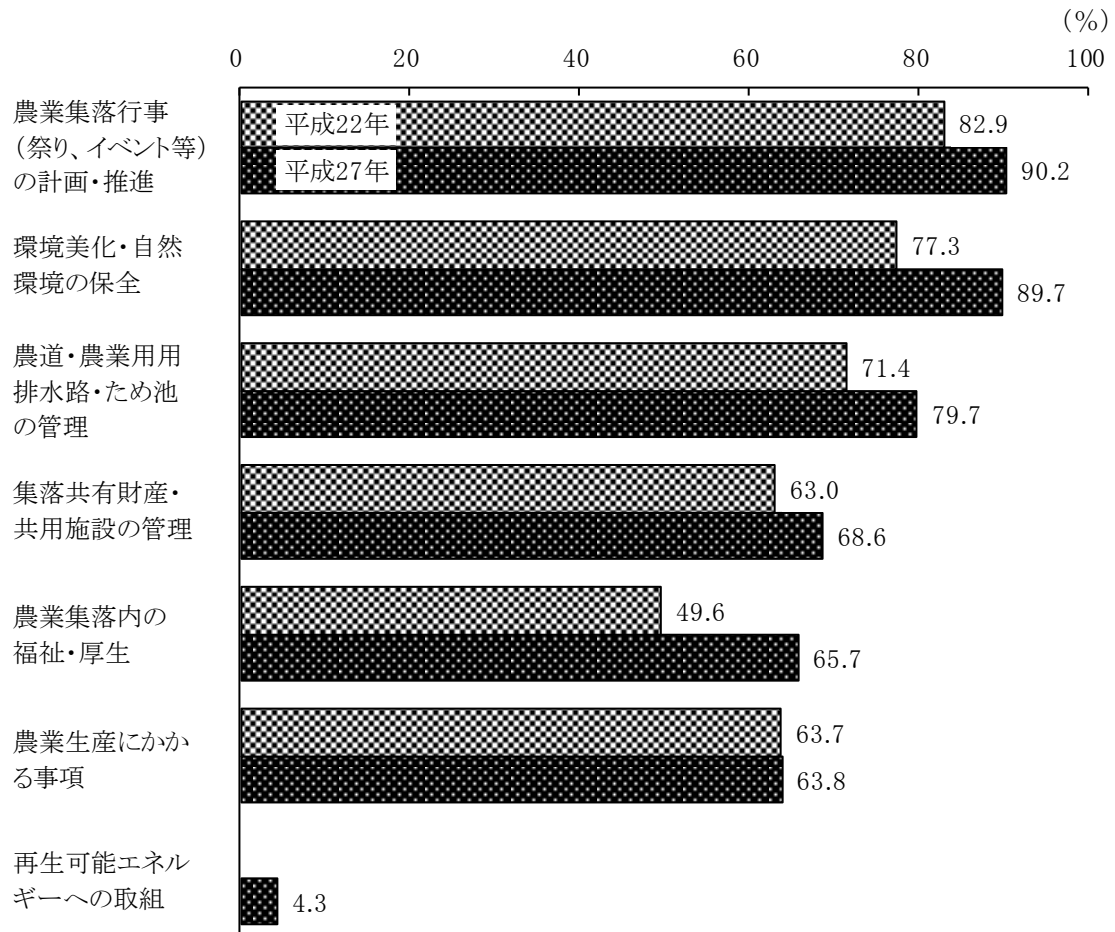


注：( )内の数値は、寄り合いを開催した農業集落に占める割合である。

### Ⅲ 寄り合いの議題

寄り合いを開催した農業集落のうち、8割以上の農業集落で「農業集落行事(祭り、イベント等)の計画・推進」及び「環境美化・自然環境の保全」を議題として話し合いが行われている。

図2 寄り合いの議題別農業集落数割合(全国)(複数回答)



注: 1 平成22年は「再生可能エネルギーへの取組」の設問は設けていない。

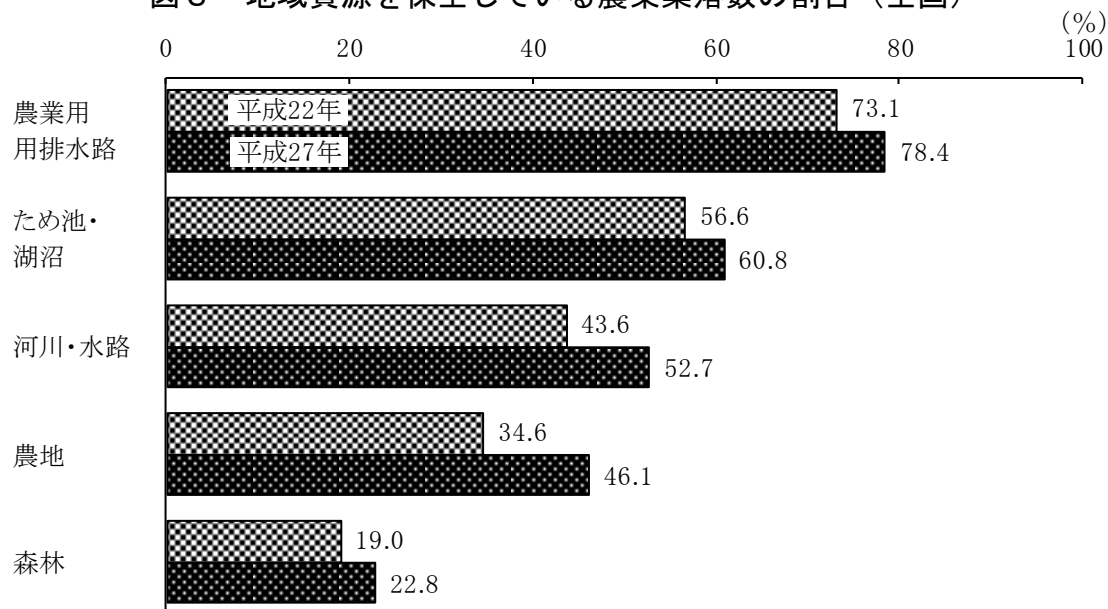
2 数値は、それぞれ寄り合いを開催した農業集落に占める割合である。

#### IV 地域資源の保全状況

農地、森林、ため池などの地域資源が存在している農業集落における保全状況をみると、「農業用排水路」が最も高く78.4%となった。

また、5年前に比べて、全ての地域資源について、保全活動を行っている農業集落の割合が高くなっている。

図3 地域資源を保全している農業集落数の割合（全国）

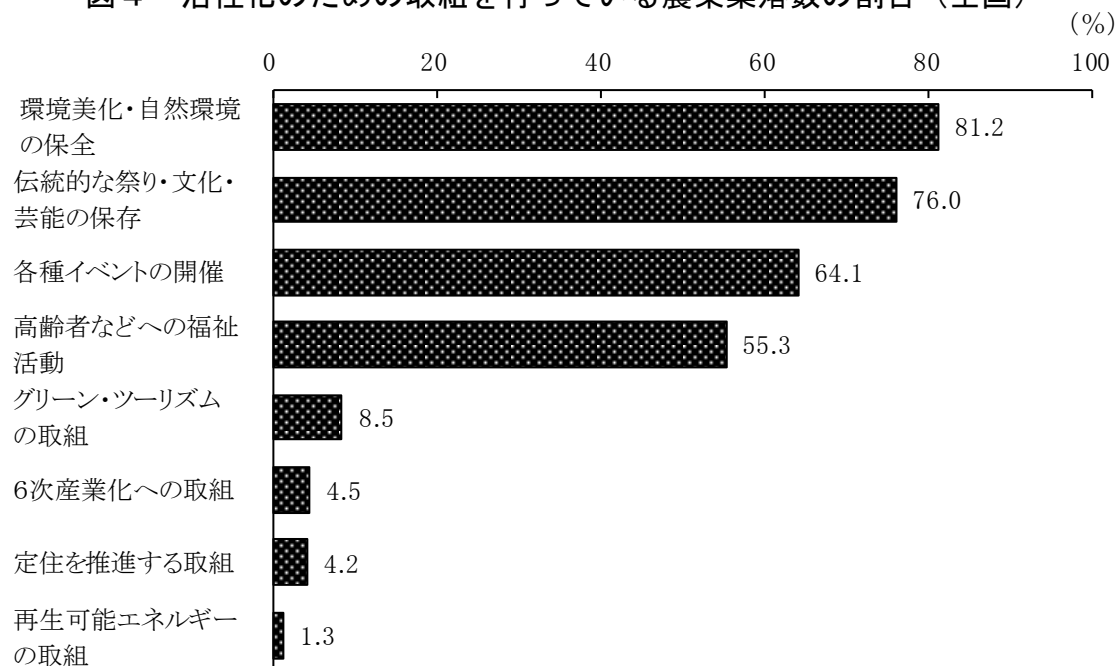


注: 数値は、それぞれ地域資源がある農業集落に占める割合である。

#### V 活性化のための取組状況

農業集落における活性化のための取組状況をみると、「環境美化・自然環境の保全」が81.2%と最も高く、次いで「伝統的な祭り・文化・芸能の保存」が76.0%、「各種イベントの開催」が64.1%、「高齢者などへの福祉活動」が55.3%となった。

図4 活性化のための取組を行っている農業集落数の割合（全国）

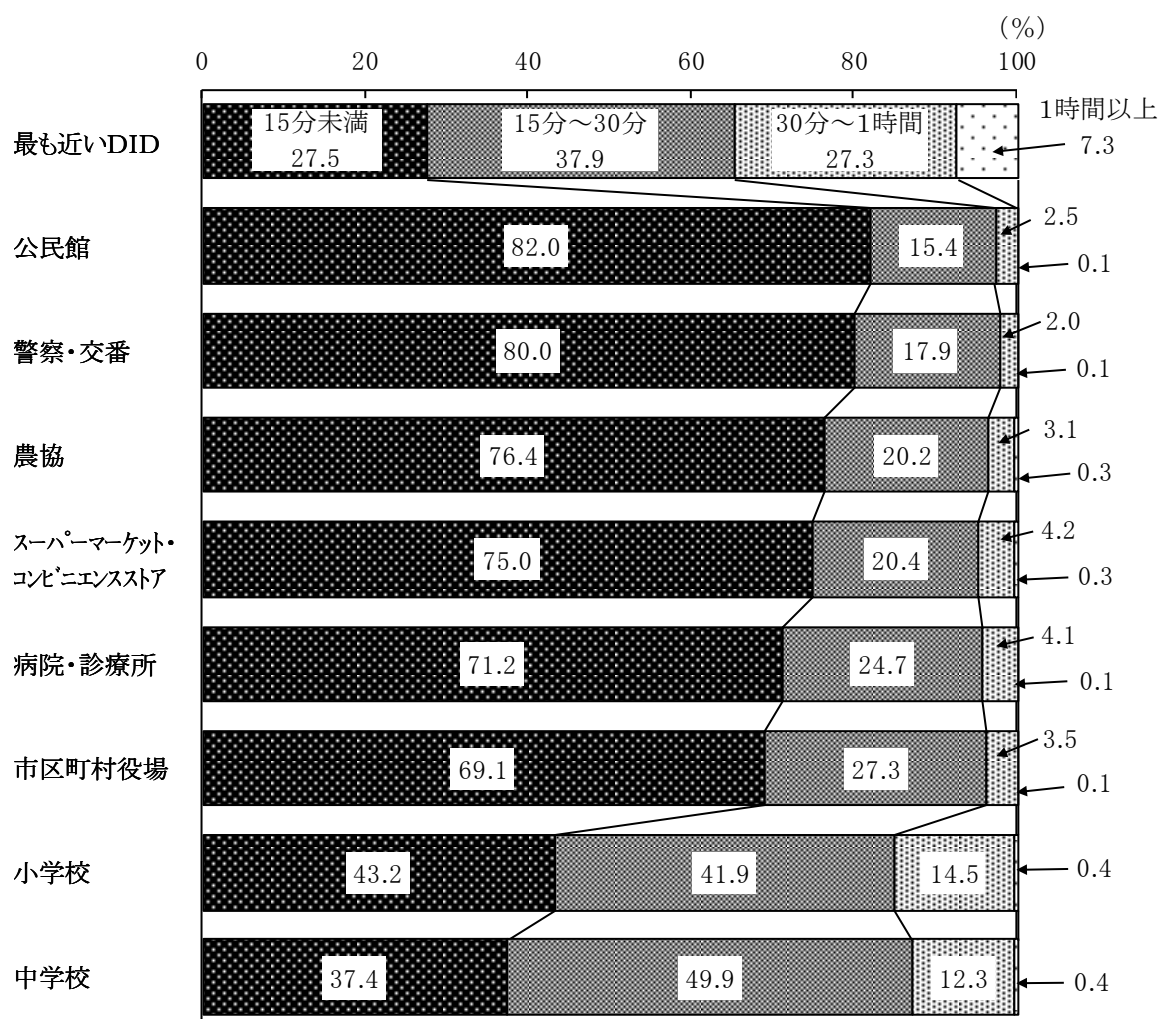


## VI DID（人口集中地区）及び生活関連施設までの所要時間

農業集落の中心地からの距離が最も近いDID（平成22年国勢調査の人口集中地区）の中心地まで、居住者が普段利用している交通手段による所要時間をみると、15分～30分層が最も多く37.9%となった。

また、生活関連施設別に所要時間をみると、「公民館」、「警察・交番」、「農協」、「スーパーマーケット・コンビニエンスストア」、「病院・診療所」、「市区町村役場」及び「小学校」では、15分未満層が最も高い割合となり、「中学校」では15分～30分層が最も高い割合となった。

図5 DID及び生活関連施設までの所要時間別農業集落数の割合（全国）



## VII 林野面積

林野面積は2,480万haで、これを国有・民有別にみると、国有は718万ha（林野面積に占める割合は28.9%）、民有は1,763万ha（同71.1%）となった。

また、総土地面積に占める林野面積の割合（林野率）は66.5%となった。

表2 林野面積及び林野率（全国）

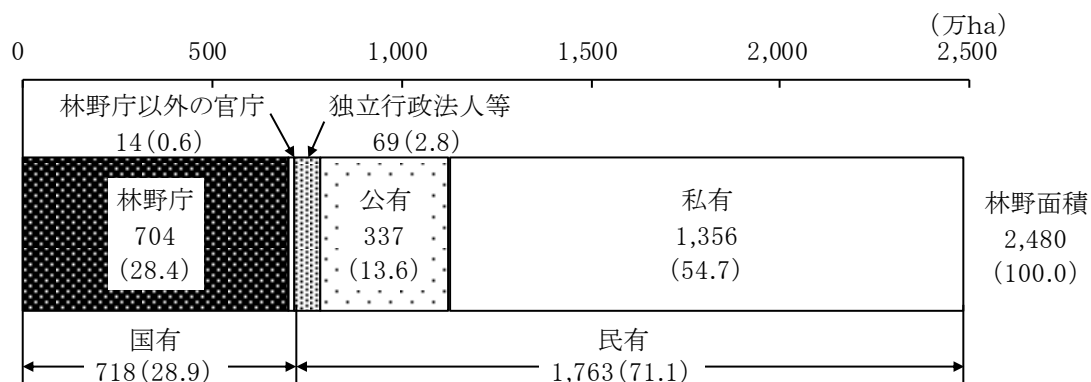
区 分	林野面積			現況森林面積			林野率
	計	国 有	民 有	計	国 有	民 有	
	万ha	万ha	万ha	万ha	万ha	万ha	%
平成17年	<b>2,486</b>	<b>735</b>	<b>1,751</b>	<b>2,447</b>	<b>721</b>	<b>1,726</b>	66.7
22	<b>2,485</b>	<b>722</b>	<b>1,763</b>	<b>2,446</b>	<b>708</b>	<b>1,738</b>	66.6
27	<b>2,480</b>	<b>718</b>	<b>1,763</b>	<b>2,443</b>	<b>705</b>	<b>1,738</b>	66.5
構成割合(%)							
平成17年	100.0	29.5	70.5	100.0	29.5	70.5	-
22	100.0	29.1	70.9	100.0	28.9	71.1	-
27	100.0	28.9	71.1	100.0	28.9	71.1	-

注：林野率の算出は、北方領土及び竹島を差し引いた総土地面積を使用した。

## VIII 所有形態別林野面積

林野面積を所有形態別にみると、私有が最も多く1,356万ha（林野面積に占める構成割合54.7%）で、次いで林野庁が704万ha（同28.4%）となった。

図6 所有形態別林野面積（全国）



注：( )内の数値は林野面積に占める構成割合である。